

自身のやりたいことを形にする

島スクール

昨年8月から開催してきた島スクールは、総務省地域力創造アドバイザーの戸田裕昭さんがメイン講師を務め、ゲスト講師とともに受講生の「やりたいこと」の実現に向けたサポートを行ってきました。島スクールで形になった取り組みを2点ご紹介します。

取り組み紹介①

農家 大場 幸恵さん(畑野地区)

自身の生産する柿を1年通して販売し、食してもらうことを目標に掲げ、オンライン販売の方法を探っていました。

具体的な取り組み 「柿販売 in 東京」

東京の表参道・新潟館ネスパスでブース出展することを目的し、地域産品を販売する企業人からアドバイスを受け、1月に出演しました。商品は完売し、通販サイトの商品にも予約が集まり始めました。

大場さん(左)の感想

「身近に専門家がない」「やりたいことはあるのにどうしたらいいかわからない」、そのような時に島スクールを知り、参加しました。講師陣からアドバイスをいただく中で、売り方や見せ方などすべてに技術があり、いかに勉強不足なのかを痛感したと同時に、知ることのおもしろさを感じ、プロから学ぶことの大切さを感じました。



講師陣からアドバイスを受ける大場さん(右)



新潟館ネスパスでの出展の様子

取り組み紹介② 松ヶ崎小学校特別プログラム

大学生が考えた「放課後子ども向けコンテンツ」を使って、松ヶ崎小学校の児童が放課後を有意義に過ごすことができるよう提案を行いました。

具体的な取り組み

児童とともに作る授業

「楽しく学ぶ=楽習」をテーマに、上智大学の学生が松ヶ崎小学校の児童に大学生活や留学経験などを通して得た気づきを伝えたり、運動や遊びから得る学びといったコンテンツを伝え、総合学習の時間に児童とコンテンツ案を考えるオンライン対話を実施しました。



松ヶ崎小学校でのオンライン対話の様子

松ヶ崎小学校の教職員の感想

学生とやり取りしながら子どもたちが考えている姿が今までの遠隔授業と違い、ライブ感がありました。

これからもいろいろな人と出会って対話して、感じて気づいて学びとってほしいです。

島スクールでは、自分のやりたいことを形にしたいと考えている方の参加をお待ちしています。詳しくは、お問い合わせください。

☎地域振興課 地域振興係 ☎63-4152